

第7回グッドライフアワードー環境省

アール・タチバナにSDG Sビジネス賞

環境省はこのほど、「第7回グッドライフアワード」の受賞者を決定し、県内からはアール・タチバナが実行委員会特別賞の1つである「SDG Sビジネス賞」を受けた。

一人一人が現在のライフスタイルを見つめ直すきっかけを作り、ライフスタイルイノベーションの創出やパートナーシップの強化を目指し、『環境と社会によい暮らし』やこれを支える地道な取組（ボランティア活動、サービスマニファスチア活動、サービスマニファスチア活動、サービスマニファスチア活動、サービスマニファスチア活動）を募集・

応援する事業。今回は、全国243件の取組の中からグッドライフアワード実行委員会での審査を踏まえ、10の取組に対し、環境大臣賞として最優秀賞、優秀賞、各部門賞、その他の優れた取組を実行委員会特別賞（28件）として選定し

た。

『廃棄物に「+デザイン」歴史と資源を受け継ぐ資源循環の取組み』のテーマで受賞したアール・タチバナは、解体で大量発生する柱・天井の建材や椅子・机の家具等の一部を「古材」として保管し、デザイン性の高い付加価値を付け、新たな建材や家具として、再び人々の暮らしに還すアップサイクルの取組みを行って

おり、呉羽山の古民家を改築したカフェ「呉山飛天」などで実践している。同社では、鉄道工事で発生する枕木、ダムや海に流れ着いた流木なども新たにデザインを付け、生まれ変わらせており、今までの使い捨てから、これからの持続可能な使い方へ、「廃棄物」という概念を捨てた日本を目指している。



呉羽山のカフェ「呉山飛天」